

科目名	卒業制作							年度	2026
英語科目名	Training and exercises 3							学期	後期
学科・学年	音響芸術科 2年次	必/選	選	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	新保正博・栃木哲也・榎本慎一・山本隆行・渡辺紀明・飯村聖美・三好敏之・大関 拓	教員の実務経験		有	実務経験の職種		エンジニア・ディレクター・クリエイター		
【科目の目的】 2年間の集大成として技術の習得・確認そして外部の方とのやり取り・作品の管理について学ぶ。この科目は作品制作を通して、外部企業や組織との折衝を通して社会人としての基本を身に付けることを目的とする。									
【科目の概要】 過去の例や既存のコンテンツにとらわれることなく独創性を持った新しいコンテンツを制作し、未来のエンジニアにとって不可欠となるクリエイティブな能力を育む実習である。									
【到達目標】 A: 作品制作における準備・企画を行える B: 出演者・外部企業などとのやり取りがスムーズにできる C: 作品の仕上げ・発表を適切に行える									
【授業の注意点】 評価基準はルーブリック評価に基づいて行う。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	完成時を意識した進行・準備が行える	完成を逆算したスケジュールが組める	企画書を作れる	企画を仲間と組める	進行できない				
到達目標 B	出演者の目指す音を理解して対話ができる	出演者に作品の内容を説明できる	出演者へ段取りについて説明できる	出演者へ基本的な礼儀をもった対応ができる	会話ができない				
到達目標 C	完成品がレベル・フォーマット・バランスが適切に作られている	放送・送出版のレベル調整ができる	指定フォーマットについての理解がある	基本的なバランスが取れる	完成のイメージが無い				
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 必要に応じてプリントを配布する。									
【参考資料】 特になし									
【成績の評価方法・評価基準】 課題の内容、提出状況、平常点を総合的に判定する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		卒業制作			年度	2026
英語表記		Training and exercises 3			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	計画立案	テーマの提示・計画立案ができる。	1 計画を立てる	計画・立案	3	
			2 説明する	プレゼンテーション		
			3 検討する	コミュニケーション		
2	グループプレゼンテーション	幾つかのグループに分かれプレゼンテーションを行い企画を絞り込むことができる。	1 説明の準備	プレゼンテーションの準備	3	
			2 説明する	プレゼンテーション		
			3 企画のまとめ	イメージの共有		
3	プレゼンテーション	絞り込まれた企画について更にブラッシュアップを行い、最終的な制作作品を決定できる。	1 資料と説明	イメージの確認	3	
			2 意見交換	ブラッシュアップ		
			3 進行準備	作品制作の準備		
4	作品制作1	決定した企画について制作のための準備を行うことができる。	1 進行	進行スケジュールの確認	3	
			2 チームワーク	コミュニケーション		
			3 作業	制作の進行具合		
5	作品制作2	各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～	1 進行	進行スケジュールの確認	3	
			2 チームワーク	コミュニケーション		
			3 作業	制作の進行具合		
6	作品制作3	作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～	1 進行	進行スケジュールの確認	3	
			2 チームワーク	コミュニケーション		
			3 作業	制作の進行具合		
7	作品制作4	作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～	1 進行	進行スケジュールの確認	3	
			2 チームワーク	コミュニケーション		
			3 作業	制作の進行具合		
8	作品制作5	作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～	1 進行	進行スケジュールの確認	3	
			2 チームワーク	コミュニケーション		
			3 作業	制作の進行具合		
9	作品制作6	作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～	1 進行	進行スケジュールの確認	3	
			2 チームワーク	コミュニケーション		
			3 作業	制作の進行具合		
10	作品制作7	作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～	1 進行	進行スケジュールの確認	3	
			2 チームワーク	コミュニケーション		
			3 作業	制作の進行具合		
11	作品制作8	作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～	1 進行	進行スケジュールの確認	3	
			2 チームワーク	コミュニケーション		
			3 作業	制作の進行具合		
12	作品制作9	作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～	1 進行	進行スケジュールの確認	3	
			2 チームワーク	コミュニケーション		
			3 作業	制作の進行具合		
13	作品制作10	作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～	1 進行	進行スケジュールの確認	3	
			2 チームワーク	コミュニケーション		
			3 作業	制作の進行具合		
14	作品制作11	作品制作 ～各班ごとにスケジュールを作成しそれに沿って作成、収録、編集等を進める～	1 進行	進行スケジュールの確認	3	
			2 チームワーク	コミュニケーション		
			3 作業	制作の進行具合		
15	作品発表	卒業制作展での発表	1 制作過程の振り返り	作品の制作段階についての説明ができる	3	
			2 作品の目的確認	作品の意図・内容の説明ができる		
			3 技術面の行使	音響技術面での説明ができる		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等